公　開
資料２

第３回　役　員　会
諸　報　告　事　項

令和８年１０月３０日

日　本　学　術　会　議

Ⅱ　諸　報　告　事　項

ページ

第１　前回役員会以降の経過報告

１　会長談話　２

２　会長等出席行事　４

第２　各部・各委員会等報告

１　部会の開催とその議題　４

２　役員会附置委員会の開催とその議題　５

３　機能別委員会の開催とその議題　５

４　分野別委員会の開催とその議題　５

５　課題別委員会の開催とその議題　６

６　若手アカデミーの開催とその議題　６

７　サイエンスカフェの開催　６

８　記録　６

９　総合科学技術・イノベーション会議報告　６

１０　慶弔　６

１１　意思の表出に係る報告　６

１２　意思の表出（英訳版）に係る報告　６

１３　インパクト・レポート　７

第３　会長決定等報告

１　協力学術研究団体の指定　７

２　後援名義の承認　７

３　連携会員の委嘱　７

４　分科会等委員の決定　７

第１．　前回役員会以降の経過報告

１　会長談話

日本学術会議会長談話
「ウクライナ国立科学アカデミーへの攻撃について」

日本学術会議は、死傷者を伴い、ウクライナの主要な学術研究機関であるウクライナ国立科学アカデミーに被害をもたらしたロシアによる攻撃を強く非難します。

学術研究は、人類共通の公共善である知的資産の創出と継承を担うものであり、研究機関や研究施設はその活動を支える重要な基盤です。こうした学術基盤への被害は、当該機関のみならず、国際学術コミュニティ全体にとっても大きな損失です。

日本学術会議は、ウクライナ国立科学アカデミーをはじめ、困難な状況の下にあるウクライナの研究者、学者及び事務職員の皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、困難に立ち向かい、研究活動の継続に尽力されている同国の学術コミュニティに対し、深い敬意と連帯の意を表します。

国際学術コミュニティの一員として、日本学術会議は学問の自由の擁護、国際的な学術協力の推進及び知の平和的発展への貢献という使命を改めて確認します。今後も、ウクライナの研究者及び研究機関と連帯し、その活動を支えてまいります。

令和８年 10 月１日
日本学術会議会長　加藤　和人

日本学術会議会長談話
硤合憲三先生のノーベル化学賞受賞を祝して

硤合憲三先生（東京理科大学名誉教授）の 2026 年ノーベル化学賞受賞を、心よりお祝い申し上げます。日本で生まれた独創的な研究が世界の学術に大きく貢献したことを、社会の皆さまとともに喜びたいと思います。

物質をつくる分子の中には、右手と左手のように、鏡に映した関係にありながら重ね合わせられない二つの形をもつものがあります。例えば、人間を含む生物の体をつくり、酵素などとして働くタンパク質を構成するアミノ酸のうち、左右の違いをもつものは、通常、Ｌ体と呼ばれる一方の形にそろっています。

一方、左右を選び分ける仕組みのない化学反応では、通常、両方の形が同じ割合で生じます。硤合先生は、特定の有機化合物をつくる反応（硤合反応）を発見し、生まれた分子自身が触媒として働いて同じ形の分子をつくる反応を助けることで、最初はごくわずかだった「左右」の偏りが、ほぼ一方だけになるまで大きくなることを、実験によって示されました。小さな違いが、化学反応を通じて大きな違いへと育っていく。その驚くべき仕組みを見出された成果です。

この発見は、生命を形づくる分子に、なぜ特定の「左右」が見られるのかという根源的な問いを考える手がかりにもなっています。自然の不思議を深く探究することが、私たちの世界の理解を広げていく。今回の受賞は、そうした基礎研究の価値を、改めて伝えてくれるものです。若い世代の皆さんにも、自ら問いを持ち、未知の世界を探究する面白さを感じていただければと思います。

日本学術会議は、学術の面白さとその意義を社会の皆さまに伝え、対話を重ねてまいります。自由な発想から生まれる研究をどのように育み、その成果を社会と分かち合っていくか、皆さまとともに考えていきます。

令和８年 10 月８日
日本学術会議会長　加藤　和人

２　会長等出席行事

月　　日	行　事　等	対　応　者
10 月 1 日（木）	記者会見	加　藤　会　長
10 月 4 日（日）	英国王立協会ポール・ナース会長との会談	光 石 前 会 長
10 月 5 日（月）	「科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム」アカデミー・プレジデント会議	光 石 前 会 長
10 月 5 日（月）	韓国科学技術アカデミー　チョン・ジノ会長との会談	光 石 前 会 長
10 月 6 日（火）	全米科学アカデミー（NAS）ニール・シュービン会長との会談会長との会談	加　藤　会　長 明 和 副 会 長
10 月 6 日（火）	政府に対する科学的助言に関する国際ネットワーク（INGSA）レミ・キリオン会長との会談	加　藤　会　長 明 和 副 会 長
10 月 7 日（水）	国際学術会議（ISC）ロバート・ダイクラーフ次期会長との会談	加　藤　会　長
10 月 13 日(火)	日本学士院秋季懇親会	堀　副　会　長
10 月 19 日（月）	世界科学フォーラム（WSF）2027 第４回運営委員会（オンライン）	関 谷 副 会 長
10 月 22 日（木） ～10 月 23（金）	国際学術会議（ISC）中間会合（北京）	加　藤　会　長
10 月 24 日（土）	Huairou Science City（北京懐柔科学城）視察	加　藤　会　長
10 月 27 日（火）	塩崎副大臣表敬訪問	加　藤　会　長 明 和 副 会 長 堀　副　会　長 関 谷 副 会 長

注）部会、委員会等を除く。

３　委員の辞任

なし

第２．各部・各委員会等報告

１　部会の開催とその議題

（１）**第二部役員会**（第１回）（10 月 20 日）

① 第 26 期から第 27 期への引継ぎについて

② その他

（２）**第三部拡大役員会**（第１回）（10 月 26 日）

① 第三部会（第 27 期・第１回）の議事要旨の確認

② 第三部会員に対する専門などの調査

③ 令和９年度第三部夏季部会について
④ 理学・工学系学協会連絡協議会について
⑤ 全体の役員会での議論の方向について
⑥ 議事要旨改革について
⑦ 第三部各分野別委員会における議論の進捗状況について
⑧ その他

２　役員会附置委員会の開催とその議題

なし

３　機能別委員会の開催とその議題

なし

４　分野別委員会の開催とその議題

第一部担当

（１）**哲学委員会**（第２回）（10 月 25 日）
① 第 27 期における哲学委員会の活動方針、および分科会の設置方針について
② 公開シンポジウムの進め方について
③ その他

（２）**史学委員会　文化財の保存と活用に関する分科会**（第１回）（10 月 25 日）
① シンポジウム開催について
② 分科会の活動について
③ その他

（３）**心理学・教育学委員会**（第２回）（10 月 26 日）
① 分科会の設置について
② 心理学・教育学委員会の分離独立について
③ その他

第二部担当

なし

第三部担当

（１）**化学委員会**（第２回）（10 月 13 日）
① 化学委員会の今後の活動方針
② その他

（２）**地球惑星科学委員会 IUGG 分科会**（第１回）（10 月 26 日）
① 委員長の選出

② IUGG 分科会下の小委員会設置について
③ 分科会の運営について
④ IUGG イヤーブック 2027 の内容確認
⑤ 議事要旨の提出に関する委員長一任について
⑥ 分科会委員間のメールアドレス共有について
⑦ その他

５　課題別委員会の開催とその議題

なし

６　若手アカデミーの開催とその議題

なし

７　サイエンスカフェの開催

なし

８　記録

なし

９　総合科学技術・イノベーション会議報告

１．本会議

なし

２.専門調査会

なし

３.総合科学技術・イノベーション会議有識者議員会合

10 月 29 日（木）

１０　慶弔

なし

１１　意思の表出に係る報告

なし

１２　意思の表出（英訳版）に係る報告（別冊１参照）

（１）総合工学委員会原子力安全に関する分科会（日本語見解：2026 年９月３日公表）
見解「ALPS 処理水の海洋放出の影響評価と課題」（要旨）
Advisory Opinion
「Assessment of the Impacts of the Discharge of ALPS-Treated Water into the

Sea and Related Challenges」

１３　インパクトレポート

なし

第３．会長決定等報告

１　協力学術研究団体の指定

なし

２　後援名義の承認

なし

３　連携会員の委嘱

第27期連携会員名簿（2026年10月30日発令分）（別冊２参照）

４　分科会等委員の決定

（１）分野別委員会分科会等委員（2026年10月19日発令分）

（史学委員会 IUHPST 分科会）

氏　　名	備　　考
隠岐　さや香	第一部会員
中村　征樹	第一部会員

（史学委員会文化財の保存と活用に関する分科会）

氏　　名	備　　考
越智　敏裕	第一部会員
松本　直子	第一部会員
杉山　淳司	第二部会員

（環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会）

氏　　名	備　　考
蟹江　憲史	第一部会員
大黒　俊哉	第二部会員
沖　大幹	第三部会員
原田　尚美	第三部会員

（地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会）

氏　　名	備　　考
中谷　友樹	第一部会員
沖　大幹	第三部会員
小口　高	第三部会員
掛川　武	第三部会員
倉本　圭	第三部会員
徳田　悠希	第三部会員
長谷部　徳子	第三部会員
原田　尚美	第三部会員
村山　泰啓	第三部会員
薮田　ひかる	第三部会員
山本　衛	第三部会員

（地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会 INQUA 小委員会）

氏　　名	備　　考
小口　高	第三部会員
長谷部　徳子	第三部会員

（地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会 COSPAR 小委員会）

氏　　名	備　　考
薮田　ひかる	第三部会員

（地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会 SCOSTEP－STPP 小委員会）

氏　　名	備　　考
村山　泰啓	第三部会員
山本　衛	第三部会員

（地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会 SCAR 小委員会）

氏　　名	備　　考
原田　尚美	第三部会員

（地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会 IASC 小委員会）

氏　　名	備　　考
原田　　尚美	第三部会員

（地球惑星科学委員会 IUGG 分科会）

氏　　名	備　　考
山本　衛	第三部会員

（地球惑星科学委員会 SCOR 分科会）

氏　　名	備　　考
大越　和加	第二部会員
原田　尚美	第三部会員